

No.126

昭和59年(1984年)11月30日 金曜日



名はじめ同天  
枝皮朝雲  
暁な空田  
見え感じます  
がなには「ウサギが見  
えなくて残すと美しい  
われる方もいます。新千円  
札に描かれた又目鷹は、  
アス・ラ・コ・月が、  
とても青いからと誤し  
をせ。植物やアンドロメダ  
銀河は悠久の世界に思い  
かのもしれません。

## 天文台の世界

今年半。設置から運営まで ◇ ◇ ◇ へんか福かじて援を貢い  
て天文台がオーナーとしてあります。  
二年半ほど前県民のさき  
下益城郡南町藤山に県本の美し火垂星  
星が輝きその南寄りには  
で盛りあじと黄岱に  
明るじ七色に輝(き)いて  
民天文台がオーナーとしてあります。  
天文台は全国でも二十九で天文台の周りは五百人の方が訪れます  
べて好者の手にかかるこの紅葉が山から下りて来て完成した天文台には既  
存する月曜日以外は県民錦にしきです。西面(あ  
り連日好意にまつて空には宵の明星だった星で、タクエストの多いの  
に広く無料開放されおかわ色染めた蘭西の天体鑑識で見る対象の  
月曜日以外は県民錦にしきです。西面(あ  
ている。毎日三十一金星がマインス・五等の月面や惑星です。月には  
とともに青いからと誤し  
をせ。植物やアンドロメダ  
銀河は悠久の世界に思い  
かのもしれません。

100



May. 1985

## ハレー彗星がやってくる(1)

今年(1985年)の暮から来年(1986年)の春にかけて、ハレー彗星がやって来ます。

周期76年のこの彗星が見られるのは、前回1910年以来のことです。人の一生の間に一度は見たいハレー彗星、この次にやって来るのは2062年になります。今、地球上に住んでいる人で、どのくらいの人が生き残り、次のハレー彗星の姿を見ることができるでしょうか? ぜひ今回、見ておきたいものですね。

彗星の名前は発見した人の名前が付けられます。しかし、ハレー彗星はハレーが発見者ではありません。記録に残っている最も古く、確実なものは西暦前240年、中国の秦の始皇帝7年のもので、それから30回は地球に接近しています。

ハレーはこの彗星を1680年に観測しました。それから4年後、この彗星のことが頭から離れない28歳のハレーは、ケンブリッジに有名なニュートンを訪ねました。当時直線運動だと考えられていた彗星の運動の様子を、ニュートンの力学の法則、万有引力の法則の応用問題として取り組みはじめ、11年後にみごとに彗星の運動が直線ではなく、ケプラーの3つの法則に従う事を解き明かしました。ハレー39歳の時です。

ハレーは「この彗星は1758年に再びもどってくる。」と、予言します。しかし、彼はその年をまたずして、1742年に亡くなりました。そして、ハレーの予言した彗星は、その予言どおり1758年のクリスマスの夜に、ドイツのアマチュア天文家バリッチが見つけました。天王星や海王星の発見よりも前に、ハレー彗星は、ニュートンの力学の法則、万有引力の法則の応用としてみて的中し、ハレーの名前を不動のものにしました。

現在、ハレー彗星は、木星の軌道を横切ったばかりです。ハレー彗星の地球への接近の様子や観測時期については、次回以降紹介していきます。

注)この文章は“熊本県民天文台だより”(1985年3月1日発行分)より記載いたしました。

表紙説明:昨年84年11月から本年85年3月まで熊本日日新聞に連載されたものをそのまま  
コピーし、印刷したものです。

「久し振り！」

「あ、ええ、自然消滅以来です。」

「え？……あの、引越し通知は出した？」

「出した……かな。」

実は、これが数年間の空白の理由です。ただ星を見たくて、星を見るのが好きな人の話を聞きたくて入ったのが、10年前。また入らせて頂いた理由は、ただ星を見たくて星を見るのが好きな人達に又会いたくなつたのと、車を持っている林さんが会員になっているという点でした。

この空白の間に、無事子供に遊ばれる身になりました。今、30人以上の子供達と戯いの毎日を送っています。

先日、子供達と博物館にお邪魔して、数日後のある日、星座盤を見せました。

「あ、プラネタリウム。」

一応優しく「これは、星座盤っていうのよ。」と、星座や、星座盤の使い方の話を始めました。

子供の質問に答え、知っている星のある所や、今日、何時頃に見られるか等を答えながら、心の中では、「やっぱり、少しずつ星に興味が出てきた。一年間の積み重ねの成果だ。」と喜んだら、

「先生、地球はどこにあって？」

「いったい何を聞いていたの。この一年間は何だったんだー。」と思う心を抑えつけ、頬には、引きつった笑いなんて浮かべながら、地球から見た星が書いてあるから地球は見えない事を説明したのです。

「先生、メリケン粉のごたっとは何？」

「は？」何と天の川の事。

「もう、続きは小学校へ行ってから勉強して。」と思う心を抑えつつ、私は一人寂しく星座盤を片付けて、一日が終わってしまったのでした。

1985(昭和60)年度

熊本県民天文

| 内容<br>月 | 運営委員会<br>(第2月曜日、天文台) | 星を楽しむ会<br>(第4土曜日、天文台) | その<br>(総会、観            |
|---------|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1985年   |                      |                       |                        |
| 4月      | 13日(火) 19:30~        | 27日 19:00~            |                        |
| 5月      | 13日 19:30~           | 25日 19:00~<br>特別観測会   | 4日~5日(日)<br>19日(日) 13: |
| 6月      | 10日 19:30~           | 22日 19:00~            |                        |
| 7月      | 15日 19:30~           | 27日 19:00~            |                        |
| 8月      | 5日 19:30~            | 24日 19:00~            | 12日(月)<br>13日(火)       |
| 9月      | 9日 19:30~            | 28日 18:30~            | 28日(火)                 |
| 10月     | 14日 19:30~           | 26日 18:00~            | 28日(月)<br>29日(火)       |
| 11月     | 11日 19:30~           | 23日 18:00~            |                        |
| 12月     | 9日 19:30~            | 28日 18:00~            | 14日(火)                 |
| 1986年   |                      |                       |                        |
| 1月      | 13日 19:30~           | 25日 18:00~            | 3日(金)                  |
| 2月      | 10日 19:30~           | 22日 18:30~            |                        |
| 3月      | 10日 19:30~           | 22日 19:00~            |                        |

| 他の行事<br>(測会、その他)        | ‘星を見る会’(博物館)<br>(熊大・理・物理、屋上) | 備考   |
|-------------------------|------------------------------|--|
|                         | 24日(水) 19:00~                | * 都合により、日時その他<br>変更が考えられますので、<br>詳しくは「星屑」を参照<br>して下さい。 |
| 3) 皆既月食観測会<br>30~総会、博物館 | 24日(金) 19:30~                |  |
|                         | 11日(火) 19:30~                | * 星を楽しむ会の具体的<br>内容については、隨時<br>考えておきます。                 |
| 例会                      | 17日(水) 19:30~                |  |
| ペルセウス座<br>夏の観測会         | 22日(木) 19:00~                | * 突発的な天文現象の<br>場合は、隨時、観測会<br>を行ないます。                   |
| 観月会<br>(29日中秋の名月)       | 17日(火) 18:30~                |  |
| 皆既月食 観測会<br>ハレー彗星 観測会   | 16日(水) 18:00~                | ○ 5月25日の特別観測会は、<br>地元 天文台近辺の人々のため。                     |
| 例会                      | 7日(木) 17:30~                 | ○ 12月14日の一般観測会は、<br>マスコミ 利用で一般に呼び<br>かける。              |
| ハレー彗星<br>一般観測会          | 13日(金) 17:30~                | * 年末年始 休台は未定。  |
| ハレー観測<br>観測新年会          |                              | ○ 5月20日 部分日食   |
| 例会                      |                              | * 例会<br>学習会<br>研究発表<br>天体写真展<br>プラネタリウム見学。             |

親子で風流に月を見ながら、友達の家から帰る時の話。

「ね お母さん。月は2つあるね。」

「え？ 2つ見える？ 本当に2つ見えるの？」

お母さんは、この子亂視かしら、と心配しました。

「だって、さっきの家にもあったでしょ。ここにも1つあるよ。」

「どうして星が見えるか知ってる？」

「あ、知ってる！ あのね、天井にうつってんの。」

(これこれ、それはプラネタリウムでしょうが)

「本当の星はどうして光ってるか知ってる？」

「穴があいてて……」以下、5分間程話におつきあいしました

以上、これは実話だったのでした。

### インフォメーション・コーナー

#### ★観測会

5日

5月4日夜半すぎから早朝にかけて見られる皆既月食の観測会が行なわれます。今回は、

“月刊天文”からの取材班もやって来るとのこと、詳細は、ハガキで連絡しますので、多数、御来台のこと、よろしくお願いします。

#### ★総会

5月19日13時30分から、熊本博物館ホールにて、昭和60年度定期総会が開催されます。昭和60年度の事業計画や各種報告等があり、その後、熊本大学の荒井賢三先生による講演(仮題ですが「星の進化」)もある予定で、プラネタリウムの見学もできますのでぜひ

ひ、おいでください。

### ☆部分日食

5月20日早朝、部分日食が見られます。この日は、いつもより早めに起きて、東の空を見てみましょう。太陽が欠けたままのぼってくるのが見られるはずです。今回の部分日食は太陽の直径の約50%が欠けて見えるのですが、望遠鏡で直接見ないようにして下さい。くれぐれも・・・。

### 天文台日誌より

1/16 バスを降りた18時21分、藤山バス停から少々歩いたところで、1等星11個を肉眼で一度に見る。地平線近くまでよく暗れている証拠だ。西の地平線すれすれにアルタイル、そしてベガ、少し高くデネブ。金星と火星が輝く下に、フォーマルハウト。東の地平線すれすれに、シリウスとプロキオン、その他冬の星座の1等星ペテルギウス、リゲル、ポルックス、カペラ、アルデバラン、以上11個の1等星を一度に見たのは、初めてのことだ。（永井）

1/17 長谷さんとハワイ日食にどんな望遠鏡を持っていくか、なんて話をする。日食は'91年、あと6年、天文台からは何人行くんでしょうかね？（小林昌）

3/17 上層の雲は東へ流れ、下層の雲は西へ行く。宵の明星だけは、鎌のように細い三日月状で煌めく、『オリオン』の狩人が猿を追いかける。『ぎょしゃ』も車椅子の操じゅうに多忙を極めている、大犬も雲の中から、ヌクと飛び出して、天狼はやはり全天一と輝く。（Miyamoto）

3/31 桃暁なれど月のため、どーしょーもない中で二重星、散開星団、M42等を見てもらった。来台者の人が、私（木下）の靴を間違って履いて帰られてしまつたらしい！？困ったもんだ（木下）

## 新入会員の紹介コーナー

★283 松永 みどり 熊本市戸島町3986 (〒861-22)

★284 第一高校 熊本市古城町3番1号 (〒860)

地学部 熊本県立第一高校

★285 花草 清孝 水俣市古城2丁目4番1号 (〒867)

★286 岩田 宣行 熊本市清水町万石32-1 (〒860)

以上の皆さん、今年1月から4月の間に入会なさった方々です。

## 編集後記

(Y. Nakagawa)

この春、卒業、入学、就職、転勤やらで、あちこちに移って行かれた方も多いと思います。私の勤め先でも、一人が移動し、新人が入ってきて、指導等で、あたふたしているところです。ついこの前までは、自分が教えられる側だったのが、教える立場、不思議な気持ちです。ハイ。

さて、天文台でも、上記のように新入会員が増えてきたのですが、就職等で、転出した方も数名います。しかも、運営委員の方が他県へと行かれたほうが多く、これから運営(一般公開会)も苦しくなってくると思われます。天文台運営に多数、ご協力いただくようお願いします。

などと書いているうちに編集後記になっていないような気もしますが...

今回の星屑も、例によってまた遅れることになってしまい、申し訳ありません。だいぶ前に原稿を依頼して、あずかっていた石原さんの原稿を、こちらの不手際で不明になってしまい、新たに書いて頂いたので、ホント、石原さん、すみませんござした。でも、石原さんの文章は、絵日記風で、石原さんが、保育園で子供たちとわいわいやっているところが、浮んできそうで、おもしろかったです。さて、そこで、お願いがあるのですが、星屑の原稿不足は毎度のこと、会員の皆さんのお投稿をお待ちしております。近況報告や製作記、不思議に思ったこと、質問コーナーなどなど、どんなことでも結構です。一筆、(〒860)熊本市古京町3-2 熊本博物館内、熊本県民天文台事務局“星屑”係まで、ハガキや手紙でも構いません、どしどし、送って下さい。